

事業報告

『HIV/AIDSチームの取組』

－ MSW・薬剤師の関わりを中心に －

【MSWの関わり】

独立行政法人国立病院機構

福山医療センター/広島県東部地区エイズ治療センター（ACCES）

医療福祉相談課長・主任MSW 木梨貴博

福山医療センターの概要

《病床数》 350床 一般317 ICU4 NICU12 GCU12 HCU5

《診療科》 31科

《令和4年度診療実績》

- ・ 外来患者数（1日平均）：683.5名
- ・ 入院患者数（1日平均）：282.6名
- ・ 手術件数（年間）：3,367件
- ・ 分娩件数（年間）：500件
- ・ 救急車搬送患者数（年間）：4,068名（うち入院患者数：2,230名）
- ・ 平均在院日数：10.1日

《主な機能》

エイズ治療中核拠点病院・第二次救急医療指定病院・地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター



近隣の専門医療機関と提携し、相互に機能補完かつ地区で完結を目指す

相互に機能補完・連携

循環器専門病院

脳疾患専門病院

広島県東部地区エイズ治療センター

ACCES: AIDS Care Center of East Side Hiroshima

- ▶ 福山・尾三地区～広島県北東部～岡山県笠岡～愛媛県今治のHIV/AIDSが通院・入院するエイズ治療中核拠点病院
- ▶ 累積診療件数98件、通院継続件数70件（県内では2番目に多い）
- ▶ エイズ発病患者・血友病の診療
- ▶ **周辺医療機関へ出張研修会の提供（HIV/AIDS医療チーム出前講座）**
- ▶ **行政機関との連携による啓発活動（福山地区エイズ等連絡協議会）**

HIV/AIDS医療チーム

- ・ エイズ学会指導医1名
- ・ 看護師3名
(外来、病棟、感染管理認定看護師)
- ・ 薬剤師3名
- ・ 心理療法士1名
- ・ 医療社会事業専門員（MSW）1名
- ・ 歯科衛生士1名
- ・ 臨床検査技師1名

福山医療センター
(中核拠点病院)



医療圏域人口：約80万人



広島県エイズ治療拠点病院マップ

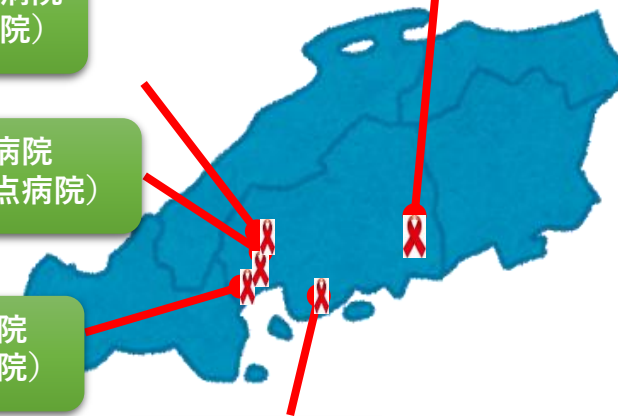
福山医療センター
(中核拠点病院)

広島市立市民病院
(中核拠点病院)

広島大学病院
(ブロック拠点病院)

県立広島病院
(中核拠点病院)

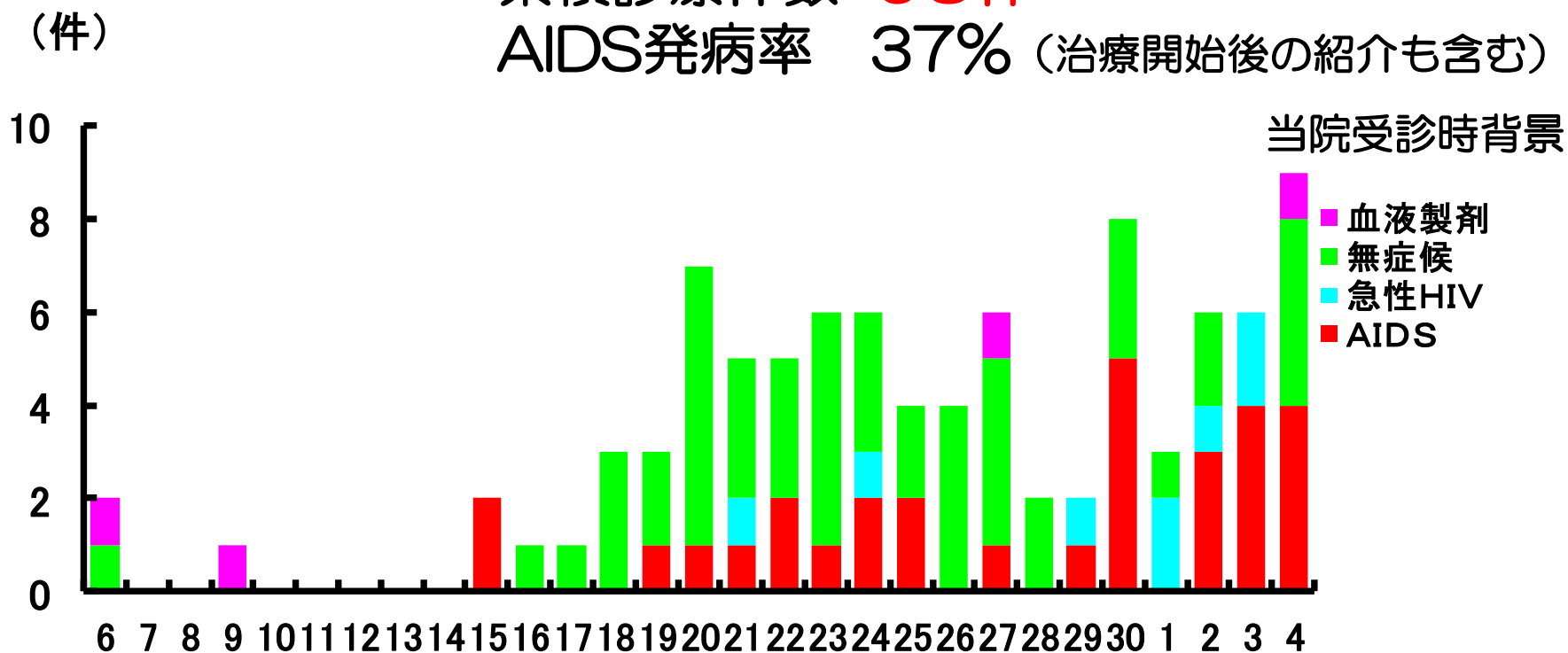
呉医療センター
(拠点病院)



当院のHIV/AIDS患者 年度別受診件数

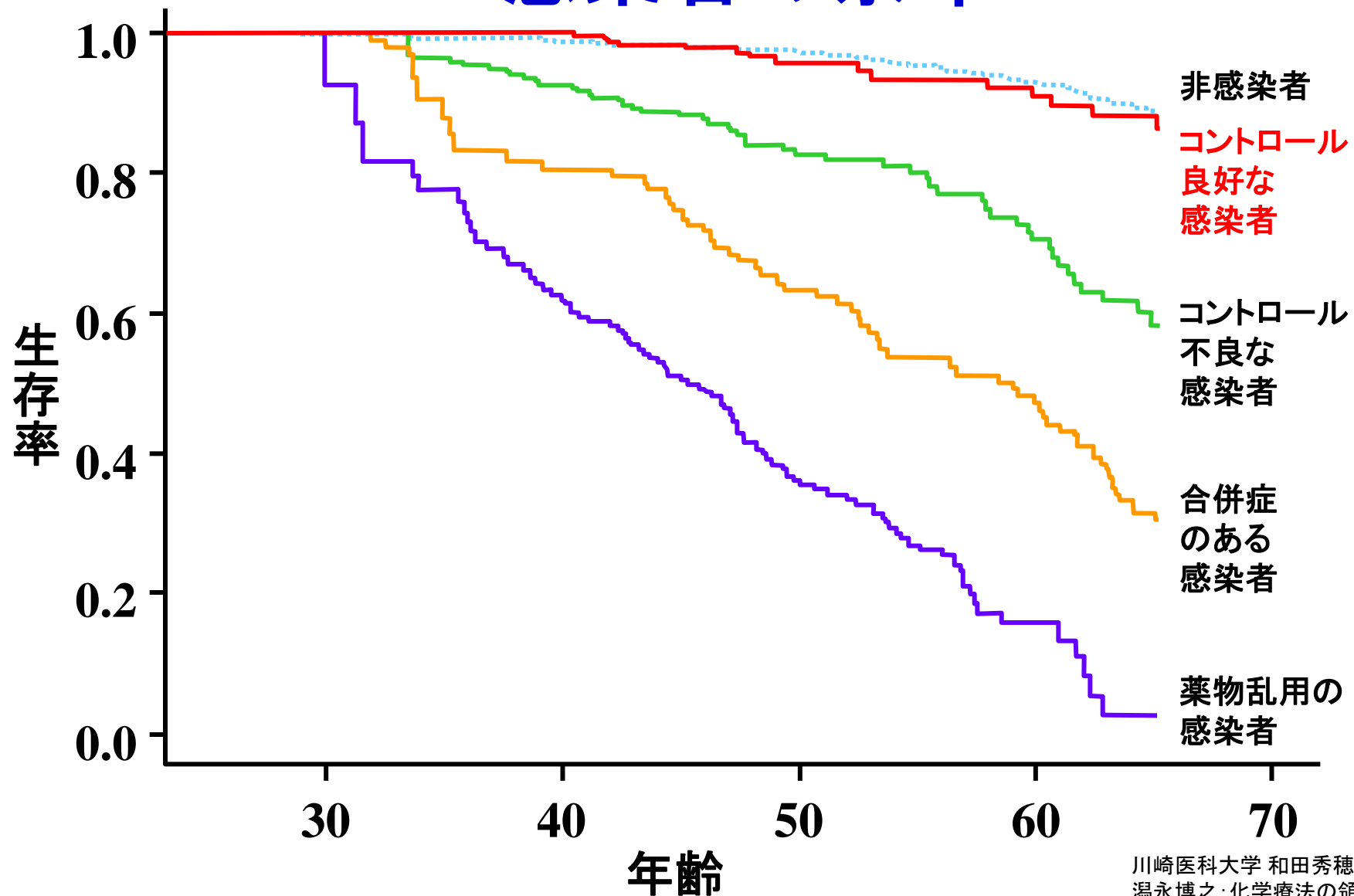
2023年6月末時点
当院データ

累積診療件数 **98件**
AIDS発病率 **37%** (治療開始後の紹介も含む)



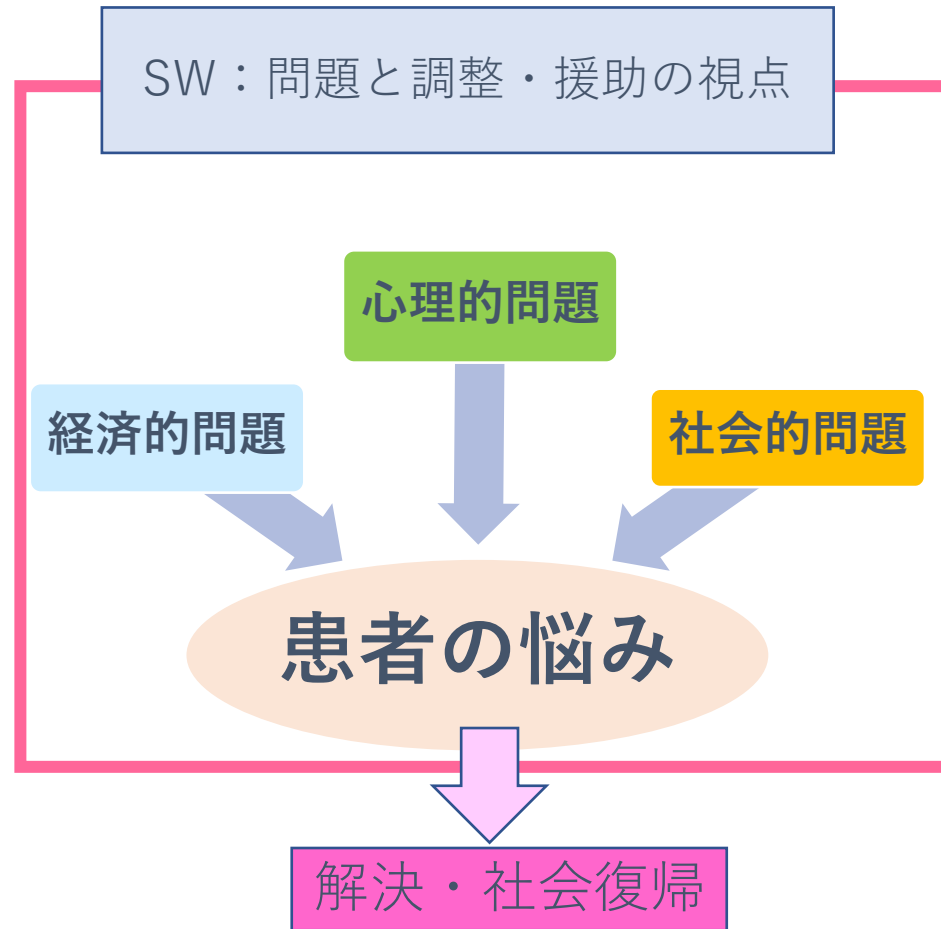
(年/平成・令和)

HIV感染者の余命



川崎医科大学 和田秀穂先生ご提供
 湯永博之:化学療法の領域 29:1885-1891, 2013から引用

ソーシャルワーカーの視点



<医療ソーシャルワーカー>

病院などの保健医療の場において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決その調整を援助し社会復帰の促進を図る業務を行う。

厚生労働省：医療ソーシャルワーカー
業務指針より

ソーシャルワーカーの関わる問題

①医療費の負担軽減相談

②公費負担制度利用に伴う手続き支援

③生活費等経済的相談

④**プライバシー保護**

⑤病気に伴う人間関係の変化（家族・友人・パートナーなど）

⑥就労継続・退職、就職、求職、休職

⑦病気に伴う人生観、人生設計の変化

⑧**病気によって顕著になった生活背景の問題**

（外国籍・セクシャリティ・精神疾患・薬物依存など）

⑨**地域医療機関への受診、転院、施設入所、在宅介護問題**

経済的支援

心理的支援

社会的支援

HIV/AIDS医療チームの目的

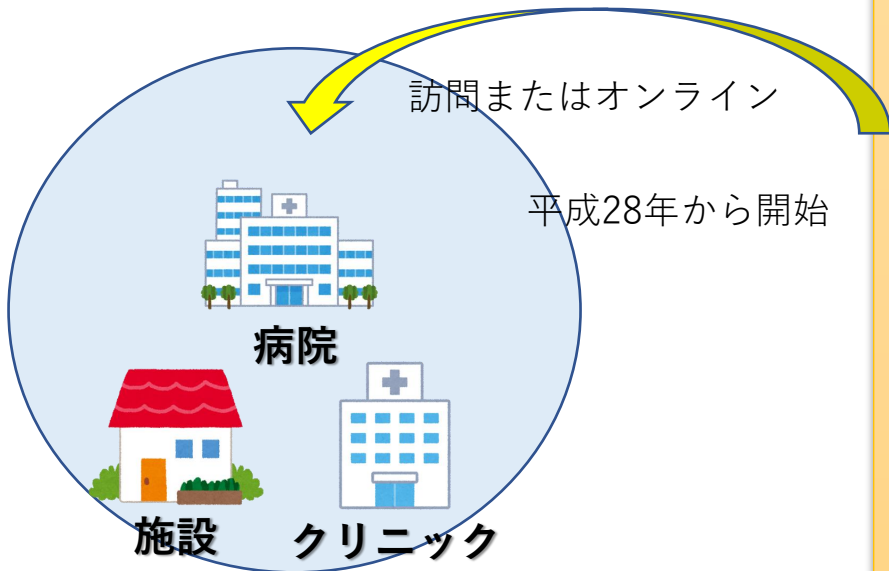
「HIV/AIDSが必要とする医療を当地区のどこの医療機関でも享受でき、住み慣れた土地でできるだけ最後まで過ごすことができる社会」を目指す



福山医療センター HIV/AIDS医療チーム

【周辺医療機関へ出張研修会の提供】

HIV/AIDS医療チーム出前講座



『医療機関等の職員の理解や不安がなく、HIV/AIDSが当たり前に受診できるよう』

各職種の専門性を活かした講義

HIV/AIDS医療チーム

基本講義講師陣



追加講義講師陣



【行政機関との連携による啓発活動】

福山地区エイズ等連絡協議会



広島県東部保健所



福山市保健所

HIV/AIDSを取り巻く課題の共有・活動の検討



広島県から検査受託病院



出前講座受講済み病院
(HIV/AIDS受入実績あり)

平成25年から開始 年2回

HIV/AIDS医療チーム出前講座

HIV/AIDS医療チーム

基本講義講師陣



追加講義講師陣



訪問またはオンライン

各職種の専門性を活かした講義

『医療機関等の職員の理解や不安がなく、HIV/AIDSが当たり前に受診できるようなう』

平成28年から開始

1回あたり60分～70分
(基本講義の場合)



病院



施設



クリニック

HIV/AIDS医療チーム出前講座

エイズ治療中核拠点病院(福山医療センター)

広島県東部地区エイズ治療センター(ACCES) HIV/AIDS医療チーム 出前講座

HIV感染症及びAIDSの治療・診療内容は画期的な進歩となり慢性疾患となりました。当院は、エイズ治療拠点病院としてHIV感染症やAIDS患者の皆さんが、偏見・差別・誤解を受けることなく必要な医療・介護を受けることができることを目指し出前講座に取り組んでいます。

目的

HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、利用可能な医療・福祉制度、支援等について研修を行うことで医療機関、施設、在宅支援事業所等がHIV感染症及びAIDSについて正しく理解し、不安が軽減でき、かつHIV感染者及びAIDS患者への偏見・差別・誤解なく、円滑な受け入れが可能となることを目的とする。

研修プログラム

《基本プログラム》

医師・感染管理認定看護師・MSWによる講義となります。

- HIV感染症について(医師)
- 感染予防対策について(感染管理認定看護師)
- 支援・医療福祉制度について(MSW)

《開催日時》 要相談(13時～16時の間または17:15以降)

○基本開催:月・木(平日のみ・年末年始・祝祭日は除く)

《時間》 基本60分～70分(要相談)

(例:70分講義:医師:40分 感染管理認定看護師10分 MSW:15分+質疑応答5分程度)

《追加プログラム》

基本プログラムに下記を追加受講すること可能です。

- ・外来看護師(10分)ー日常生活での関わり
- ・薬剤師(10分)ー抗HIV薬について
- ・臨床心理士(10分)ーHIV陽性者の心理について
- 追加受講の場合は、それぞれの時間が追加されます。
- 全て追加された場合は、90分～100分となります。

《方法》 対面(申込頂いた医療機関等へ向う)もしくはオンライン(ZOOM等)で講義

《費用》 無料

《備考》 研修前にアンケートのご協力をお願いします。
講師派遣依頼を「福山医療センター院長」宛で提出をお願いします。

《お申し込み・お問い合わせ》

福山医療センター 医療連携支援センターへご連絡ください。
受講のお申し込み目安として、ご希望日の約1ヶ月前までにご連絡ください。

《出前研修のお申し込み・お問い合わせ先》
福山医療センター 医療連携支援センター
TEL(084)922-0230(直通) FAX(084)922-2411(直通)

出前研修を利用されるにあたって

【研修プログラムについて】

- ・受講は『基本プログラム(医師・感染管理認定看護師・MSWからの講義)』となります。
- ・基本プログラムを受講して頂いた上で追加プログラムを受講して頂きます。
- ・追加プログラムについては、お申し込みの時にご相談ください。

【対面の場合】

- ・パソコン(PC)、プロジェクター(P)、スクリーン(S)を可能であればご用意ください。
- (お持ちでない場合には、改めて準備して頂く必要はありません。ご相談させて頂きます。)

【オンラインの場合】

- ・PC、P、S及びインターネット環境(ZOOM、Microsoft Teams、WebEX)のいずれかをご用意ください。
- (ミーティングID等をメールでお送りします。)

【資料について】

- ・メールに添付しお送りするか1部郵送しますので必要部数をご用意ください。

受講された方々の声

治療面と福祉制度の両方を聞くことができたので良かったです。

HIV/AIDSに関する知識、偏見がかなり少なくなった。

エイズの方と一般の方との対応は分けなくても良いことがわかった。

普段HIVの患者と関わる機会が少ないため、遠い存在になりかけていた。この講義により身近なモノとして考え直す良い機会になった。今後在宅での支援もありえるので、活かしていきたい内容だった。

正しい理解にもとづく対応の必要性があると思いました。あと医療機関、介護施設などへの啓発も必要な内容だと思います。

標準予防策の対応についてわかりやすかった。標準予防策での対応で良いこともわかりました。

針刺し・切創・血液暴露対策

第1推奨薬(併用)

速やかな抗HIV薬の予防内服が大切!(4週間の継続)
→ 針刺しが起こってから2時間以内の内服が望ましい。

GGP デシコビ配合錠HT(1錠/日分) + アイセントレス錠400mg(2錠/日分)
※初回内服時のみアイセントレス錠は2錠/回

※妊娠の有無によって薬剤の変更が必要となる可能性があります。詳しくは当院薬剤部までお問い合わせ下さい。

《針刺し・切創・血液暴露事故発生時の連絡先》

福山医療センター
平日(8:30~17:15) TEL (084)922-0001(代表)
夜間(17:15~翌8:30)・休日 TEL (084)922-0003
★平日(日中)の場合は、「内科外来」宛で連絡をお願いします。
★夜間・休日の場合は、時間外窓口へ連絡をお願いします。

※針刺し切創・血液事故時には、
当院において24時間対応いたします。

《出前講座実績》

平成28年～令和5年

受講機関	受講者数	講師
医療機関（10ヶ所）	約440人	医師、看護師（感染管理）、外来看護師、薬剤師、臨床心理士、MSW
福祉・介護事業所（4ヶ所）	約120人	
職能団体（5団体） ○社会福祉士 ○MSW ○歯科衛生士 ○訪問看護 ○ケアマネージャー	約140人	
歯科衛生士専門学校（1ヶ所）	58人	

これまで20ヶ所に実施

受講者合計約758人

令和6年8月現在

シーズン1

福山地区エイズ連絡会



広島県東部保健所

平成25年から開催

年2回

各保健所・当院の活動報告



福山市保健所

HIV/AIDSを取り巻く課題の共有



福山医療センター HIV/AIDS医療チーム

福山地区エイズ等連絡協議会



広島県東部保健所



福山市保健所

平成25年から福山地区エイズ連絡会を開催
令和2年に協議会に変更

年2回

各保健所・当院・参加病院の活動報告等

HIV/AIDSを取り巻く課題の共有・検討・活動等



広島県から検査委託を受けた病院
(令和2年から参加)



広島県から検査委託を受けた病院
(令和2年から参加)



福山医療センター HIV/AIDS医療チーム

福山地区エイズ等連絡協議会



広島県東部保健所



福山市保健所

平成25年から福山地区エイズ連絡会を開催
令和2年に協議会に変更
令和5年にHIV/AIDS受入実績あり病院を追加

年2回

各保健所・当院・参加病院の活動報告等

HIV/AIDSを取り巻く課題の共有・検討・活動等



広島県からの検査受託病院
(令和2年から参加)



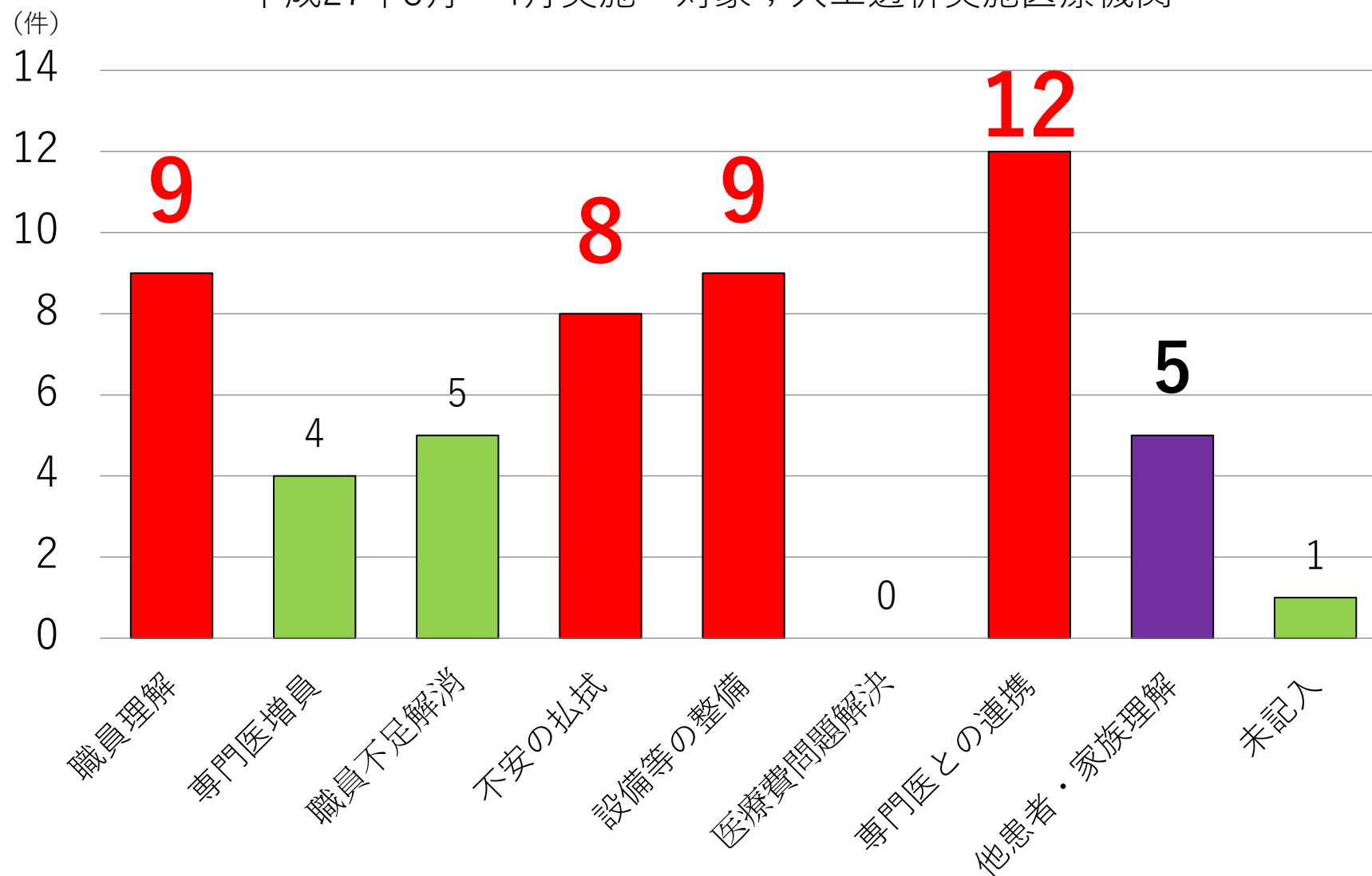
出前講座受講病院
(HIV/AIDS受入実績あり)
(令和5年から参加)



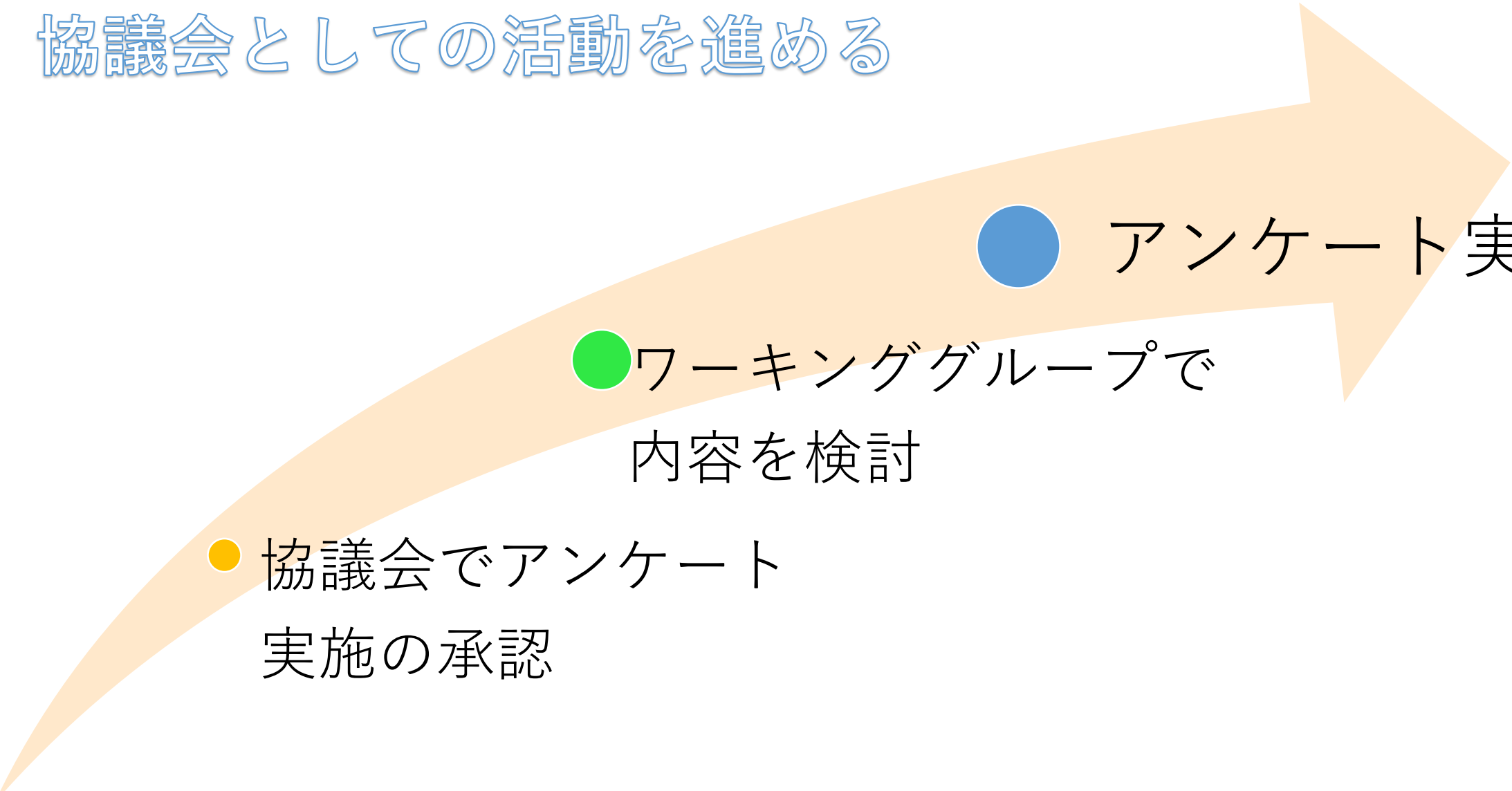
福山医療センター HIV/AIDS医療チーム

HIV/AIDS医療提供における課題のアンケート

平成27年3月～4月実施 対象；人工透析実施医療機関



協議会としての活動を進める

- 
- アンケート実施
 - ワーキンググループで
内容を検討
 - 協議会でアンケート
実施の承認

アンケート結果集計

ワーキンググループで施設向けの啓発活動内容を検討

ワーキンググループで啓発活動の
方向性を決める

協議会にフィードバック

協議会としての活動を進めていく

対象：老人保健施設

啓発活動の内容はこれから・・・

HIV/AIDSを受け入れない施設が全国的に多い。

福山市でも連携病院が施設検索に苦勞した。

やっと見つかった施設へ入所できたものの福山市内の入所施設は受け入れできるのだろうか？



病院だけで活動するのではなく、福山地区エイズ等連絡協議会としてアンケートを実施しよう！

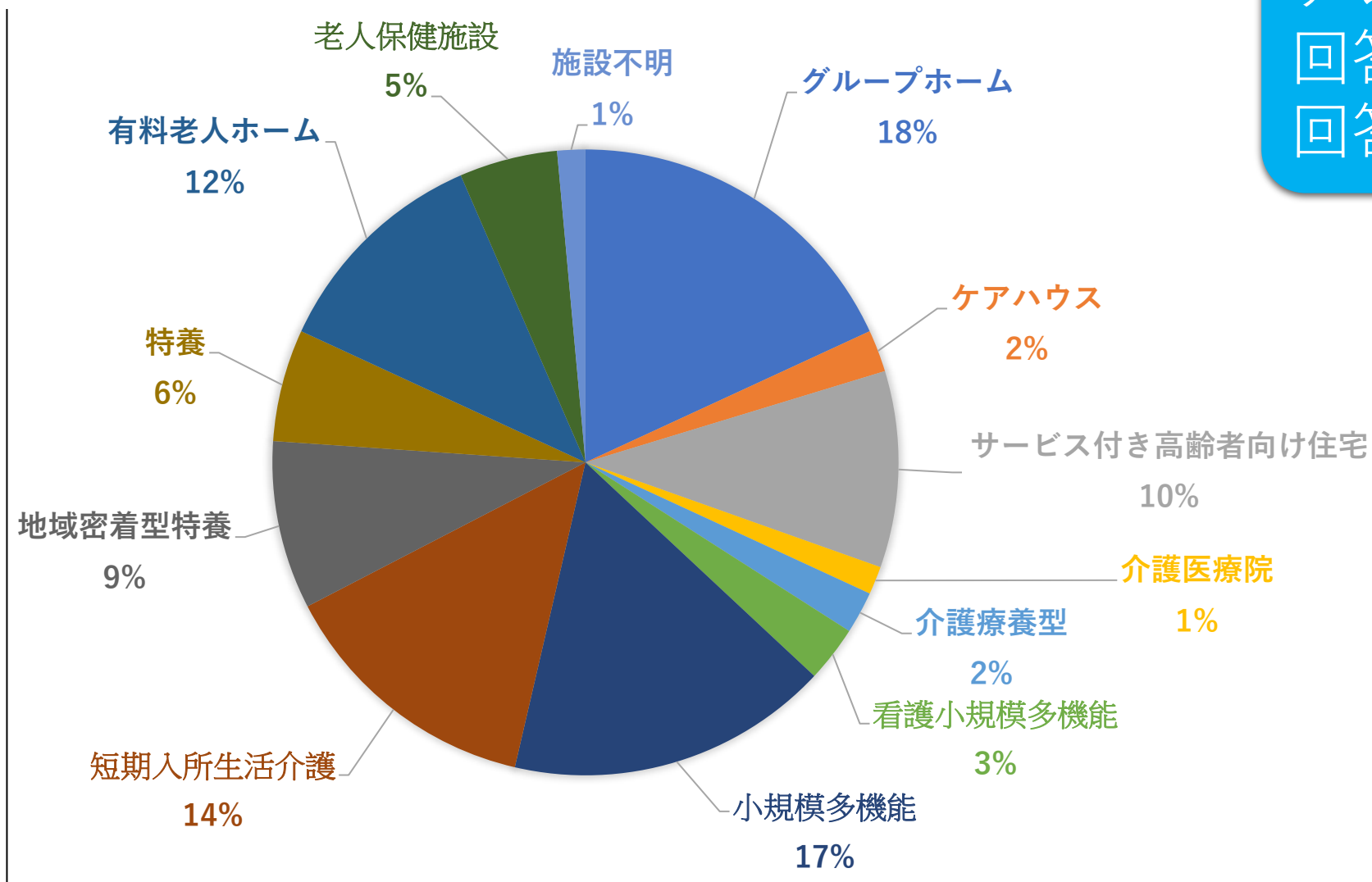
その結果を基に協議会としての活動を展開させていこう！

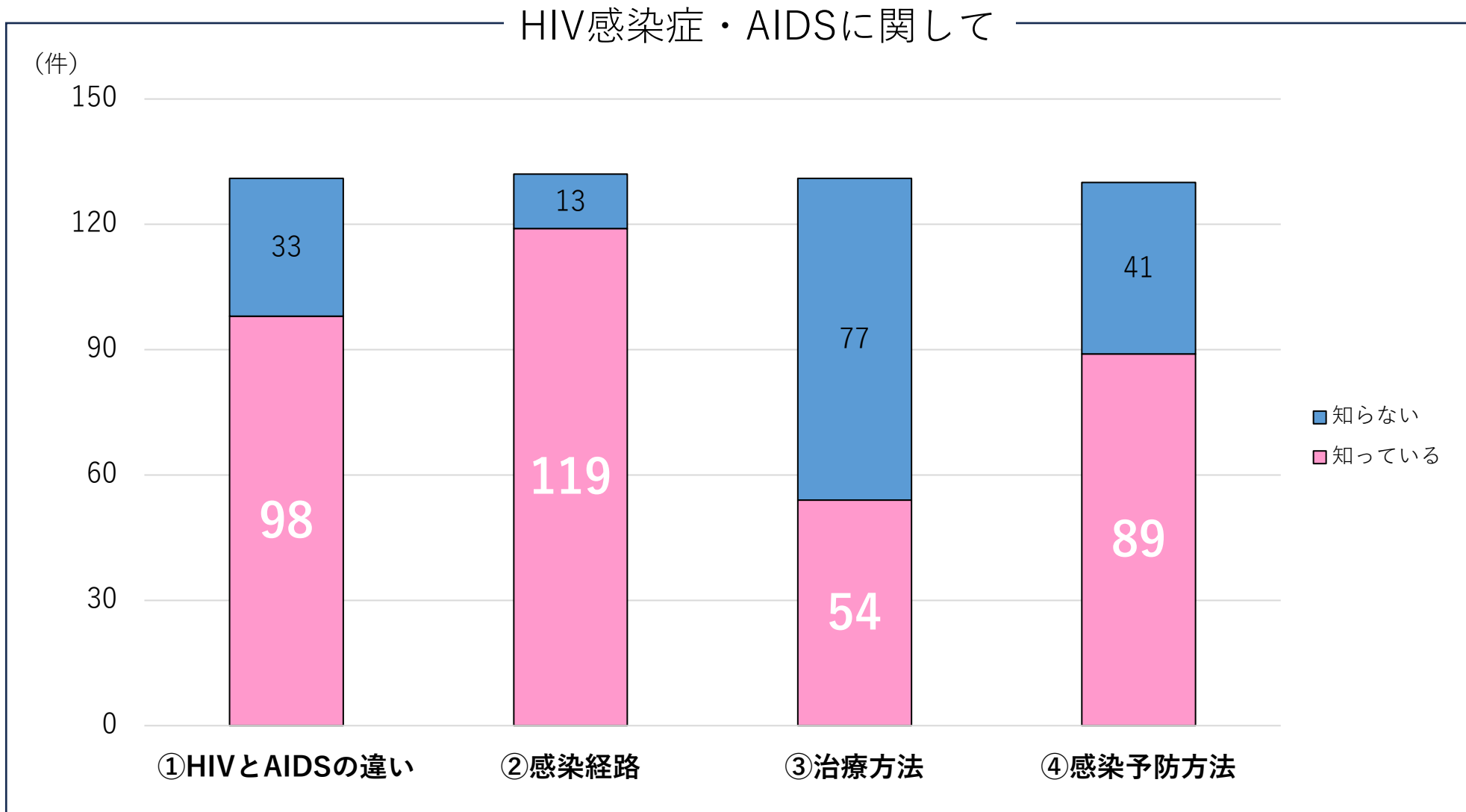


HIV感染者/AIDS患者の介護施設入所に関するアンケート 令和5年10月～11月実施

対象/回答施設内訳

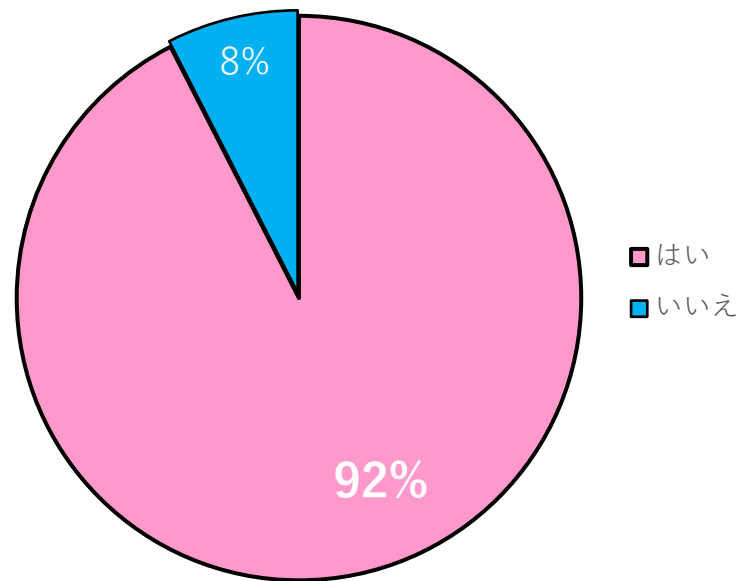
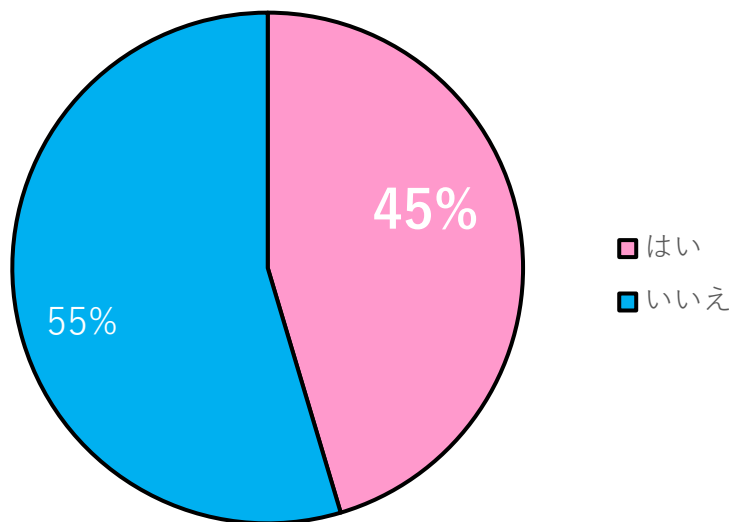
アンケート；485施設
 回答：138施設
 回答率：28.45%



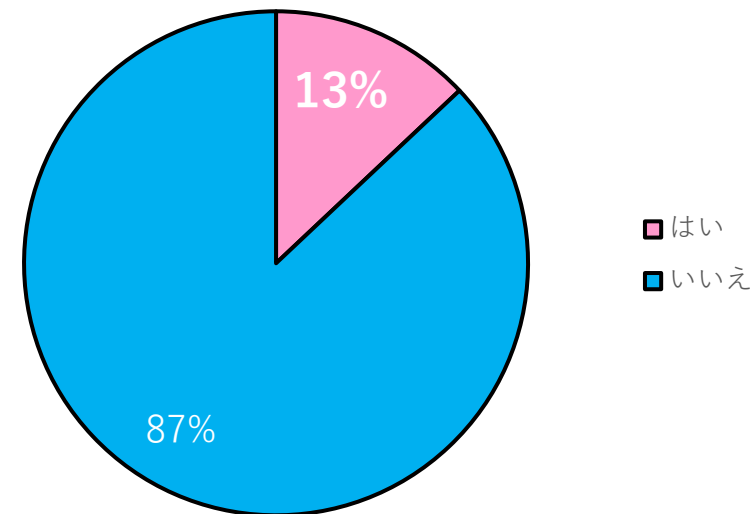


感染対策マニュアル整備

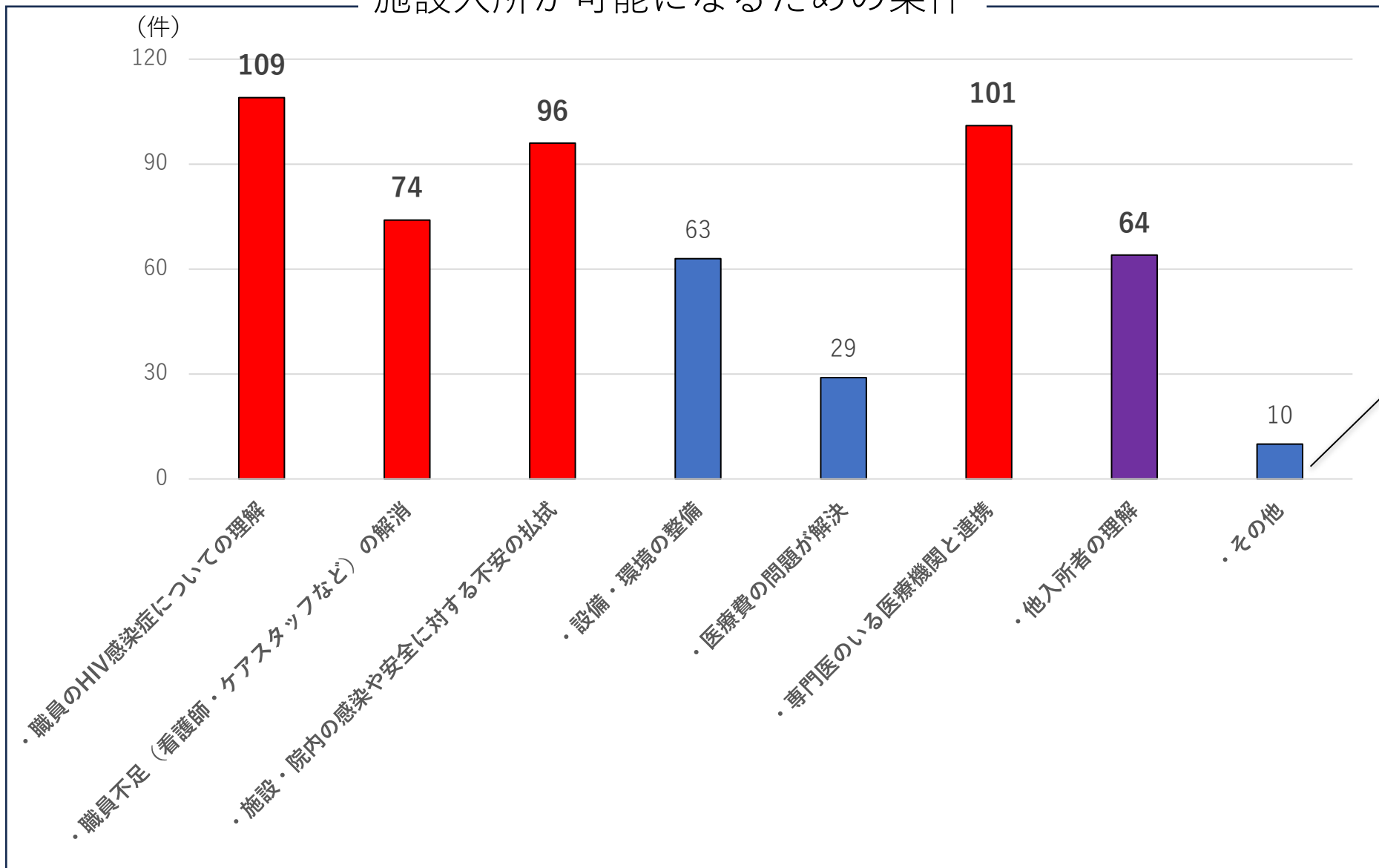
感染対策マニュアルに肝炎ウイルス項目が含まれていますか？



感染対策マニュアルにHIVに関する項目が含まれていますか？



施設入所が可能になるための条件



・職員等の離職がなければ
 ・家族の理解
 ・受入不可
 ・感染した場合の補償ができないため。

【職員教育のサポート】

- 職員への定期的な研修
- 感染経路、HIVについて理解を深めるための職員研修など
- 医療との密な連携、家族の理解、職員の感染症に対する正しい知識
- 職員に対しHIV・エイズに関しての知識が乏しいため、それに対する研修や勉強会の実施が必要。
- 職員（介護スタッフ、Ns）への定期的に研修、日常生活での注意事項やケガをした時の対処法など基礎的な知識を
- 感染症の理解を得られる研修会
- 感染予防に関するレクチャー～実践フォロー等の環境、提携先医療機関及び訪問看護事業所の理解
- HIV/AIDSについて職員の研修や啓発
- 十分な感染対策が取れるか、教育をサポートして欲しい。

【緊急時受入・相談窓口等のサポート】

- かかりつけ医との連携が病院間で行ってもらえる。かかりつけ医の受入が可能であるか。
- 針刺し等の事故があった場合のフォロー体制があるか。
- 看護師の配置がないため症状が悪化した場合や終末期の受け入れ体制の確約
- 主治医への情報提供等のサポート
- いつでも相談できる窓口があって欲しい。
- 体調不良時の受け入れ体制が整っている。
- かかりつけ医からの具体的な感染予防策の提案等、症状悪化時の医療サポート（受け入れ等ができる機関の確保）
- 嘱託医との連携が病院間で行える、嘱託医の受入が可能であるか。
- 医療機関（専門医のいる）との連携、バックアップ等のサポートが必要
- AIDSを発症した際の治療等入院の受け入れができるか。発症した際の施設の対応は不可能と考える。

【その他のサポート】

- 職員による勉強のサポート、マニュアル整備、職員の増員
- 対策マニュアル、感染予防品の助成
- 対応方法について細かな情報
- マニュアル作成への助言、医療費等の問題、他入所者、家族への理解
- 医療的処置が必要時の物品、手技方法のサポート
- 医師や看護職のサポート
- 職員不足の解決
- 状況や様々な環境整備をしてから

(アンケートから一部抜粋)

相談窓口・受入窓口の確保

正しい知識の理解

教育

相談

施設のサポート体制

サポート

啓発が
必要

福祉・介護関係者のHIV感染症、AIDSに関する正しい理解、福祉・介護関係者によるHIV/AIDSに対する差別・偏見・誤解の解消が必須

福山医療センターが
出前講座します。

HIV/AIDS
の知識

感染対策マ
ニュアル整
備

アンケートで92%整備できている。
45%は肝炎対策が盛り込まれている。
13%はHIV対策が盛り込まれている。

福山医療センターが
バックアップします。

受入に關す
るサポート



HIV感染者/AIDS患者の受け入れは整うはず・・・



「排除されない地域」を目指して

HIVの知識と感情をUPDATE！

- ・自らの先入観や偏見を排し、利用者があるがままに受容する。
- 「知識<HIV感染者/AIDS患者に対する偏見・誤解・差別」が未だにあります。

支援において『権利擁護』は不可欠！

- ・利用者に対して、性別、性的指向等の違いから派生する差別やセクシュアル・ハラスメント、虐待をしない。
- ・利用者を擁護し、あらゆる権利侵害の発生を防止する。
- HIVを理由に拒否することは、HIV感染者/AIDS患者の権利を侵害しています。

個人情報保護を順守！

- ・利用者のプライバシーを最大限に尊重し、関係者から情報を得る場合、その利用者から同意を得る。
- ・利用者や関係者から情報を得る場合、業務上必要な範囲にとどめ、その秘密を保持する。
秘密の保持は、業務を退いた後も同様とする。
- 他の利用者や家族に理解のために個人情報漏洩してはいけません。

【最後に】

世界エイズデーキャンペーンテーマ
「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。」

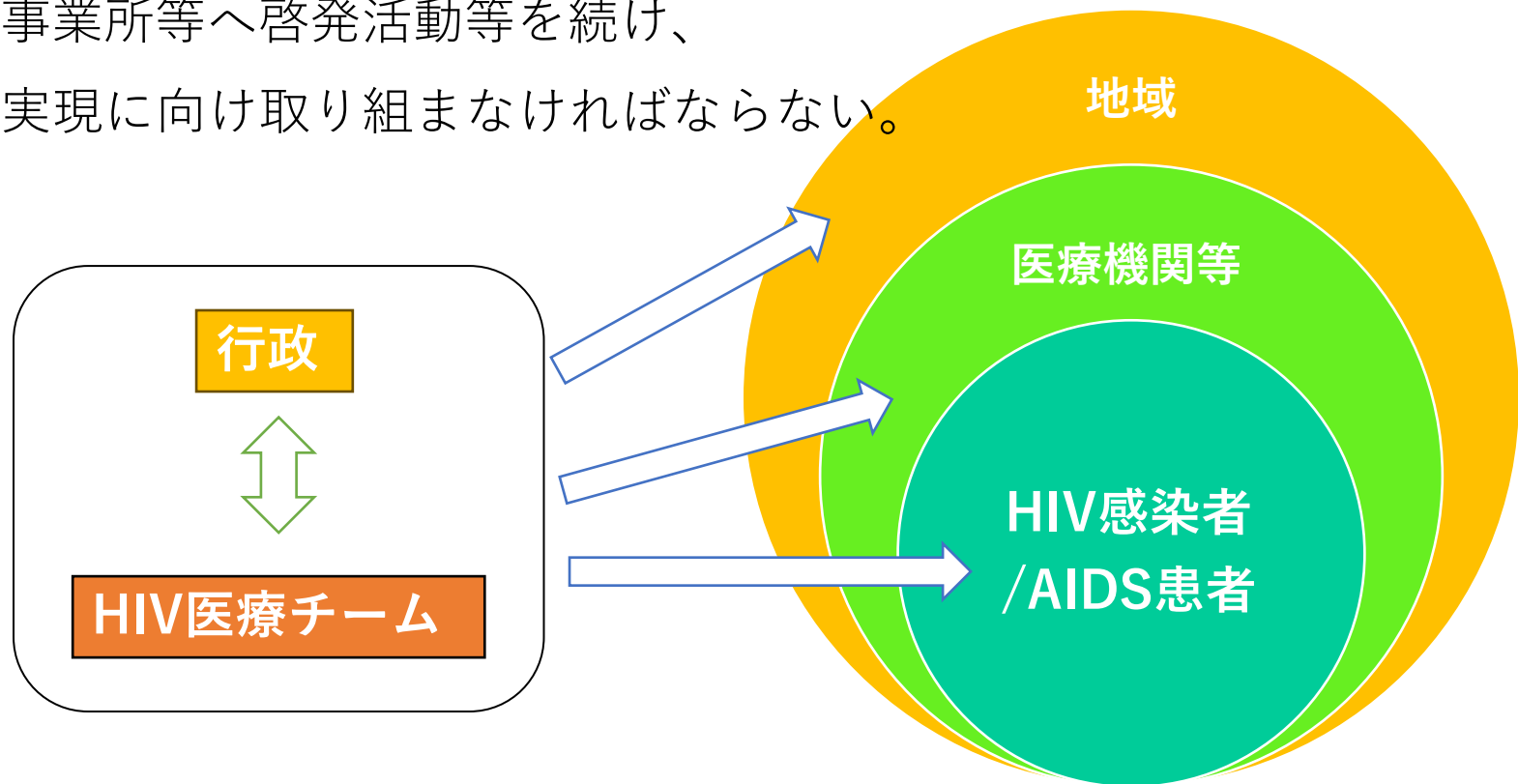
エイズパニックから約40年、HIV感染者/AIDS患者の受け入れ体制は育っていない。
 医療機関等がHIVを理由に拒否する（=排除する）ことは『**権利侵害**』に繋がる。

患者の『**権利擁護（人権を守る）**』は必須。
 行政と共に医療機関・福祉機関・介護事業所等へ啓発活動等続け、

『**排除されない地域**』の実現に向け取り組まなければならない。



『**排除しない地域**』





貴重な機会を頂きありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

